

くすのき



校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

入れ替え授業

〇J Tやすべての児童をすべての職員で、という趣旨で本校ならではの「入れ替え授業」に取り組みははじめました。6月19日は、教務主任（6年担任）の吉田教諭が1年生の算数、米澤教頭先生が6年生の算数、保健室の辻千晶先生が5年生の総合的な学習の時間を担当しました。



1年生と吉田先生

〇J Tとは、On The Job Training（オンザジョブトレーニング）の略で、職場の上司や先輩が部下や後輩に対して、実際の仕事を通じて指導し、知識、技術などを身に付けさせる教育方法のことです。今回は、教職歴18年目の吉田教諭が、1年生の算数（ひき算）の授業を行い、3年目の栄先生や大学を卒業したばかりの守屋先生が、その授業を見て、授業の進め方はもちろん児童への声かけや、教材の使い方の指示などを学びました。今回は、ひき算の一単元を通して実施する予定で、その時間に、教頭業務が忙しい中、米澤教頭先生が6年生の分数の単元を担当します。5年生の総合的な学習の時間は、今度中央小と一緒にいく集団宿泊教室に向けて、保健指導を含めた



5年生と辻千晶先生

た学習をしました。担任の辻建成教諭もその指導を参観し、勉強になりました。私が特に感じたのは、どの学年も担任の先生ではない職員が授業をしているのに、違和感なく、子ども達がとても素直に積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。

子どもも担任以外の先生のことを知れるし、その逆も利点の一つだと思います。また、中学校のように同じ子のことを複数の職員が話題にすることができます。教育に効果的なことを、職員が主体的に実践していることが校長として嬉しいです。教師が笑顔になると子どもも笑顔になります。教師が楽しんでいると子どもも楽しくなります。教師が協力すると子どもも協力することの良さを実感します。この様なことを若い先生には、実際に見て感じて自分の力にして欲しいです。

「子どもの前に立つことを楽しめる教師」として成長することを期待しています。「入れ替え授業」は他の学年でも実施していく予定です。



6年生と米澤教頭先生

そうじを楽しめたら

そうじの時間、校長業務に少し余裕があるときは、各教室のそうじを子ども達と一緒にすることにしています。私は、ただ子ども達と一緒にそうじをするだけです。「無言でそうじをする子・おしゃべりしてしまう子・汗を出しながら精一杯する子・しない子」、正直様々です。やらされて仕方なくやるのではなく、自分が使わせてもらう教室などを自分の意志で、周りに流されず黙々とそうじを楽しむ子をたくさん育てることができたら、と思っています。綺麗になると気持ちいいですよ！



1年生みんなで



5年生一人でも